



「デジ活」中山間地域について

農村振興局 農村計画課

MAFF

Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries

農林水産省

令和 7 年 5 月



ホームページはこちら

デジタル田園都市国家構想総合戦略の全体像

「デジタル田園都市国家構想総合戦略について」(抜粋)
内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局 作成

総合戦略の基本的考え方

- テレワークの普及や地方移住への関心の高まりなど、**社会情勢がこれまでとは大きく変化**している中、**今こそデジタルの力を活用して地方創生を加速化・深化**し、「**全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会**」を目指す。
- **東京圏への過度な一極集中の是正や多極化を図り、地方に住み働きながら、都会に匹敵する情報やサービスを利用できるようにすることで、地方の社会課題を成長の原動力とし、地方から全国へとボトムアップの成長につなげていく。**
- デジタル技術の活用は、その**実証の段階から実装の段階に移行**しつつあり、デジタル実装に向けた各府省庁の施策の推進に加え、デジタル田園都市国家構想交付金の活用等により、**各地域の優良事例の横展開を加速化**。
- **これまでの地方創生の取組も、全国で取り組まれてきた中で蓄積された成果や知見に基づき、改善を加えながら推進**していくことが重要。

＜総合戦略のポイント＞

- まち・ひと・しごと創生総合戦略を抜本的に改訂し、**2023年度から2027年度までの5か年の新たな総合戦略**を策定。デジタル田園都市国家構想基本方針で定めた取組の方向性に沿って、**各府省庁の施策の充実・具体化**を図るとともに、**KPIとロードマップ（工程表）**を位置付け。
- 地方は、地域それぞれが抱える社会課題等を踏まえ、**地域の個性や魅力を生かした地域ビジョンを再構築**し、**地方版総合戦略を改訂。地域ビジョン実現に向け**、国は政府丸手となって総合的・効果的に支援する観点から、**必要な施策間の連携をこれまで以上に強化**するとともに、同様の社会課題を抱える複数の地方公共団体が連携して、効果的かつ効率的に課題解決に取り組むことができるよう、**デジタルの力も活用した地域間連携の在り方や推進策を提示**。

施策の方向

デジタルの力を活用した地方の社会課題解決

デジタルの力を活用して地方の社会課題解決に向けた取組を加速化・深化

- 1 地方に仕事をつくる**
スタートアップ・エコシステムの確立、中小・中堅企業DX（キャッシュレス決済、シェアリングエコノミー等）、スマート農林水産業・食品産業、観光DX、地方大学を核としたイノベーション創出 等
- 2 人の流れをつくる**
「転職なき移住」の推進、オンライン関係人口の創出・拡大、二地域居住等の推進、地方大学・高校の魅力向上、女性や若者に選ばれる地域づくり 等
- 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる**
結婚・出産・子育ての支援、仕事と子育ての両立など子育てしやすい環境づくり、こども政策におけるDX等のデジタル技術を活用した地域の様々な取組の推進 等
- 4 魅力的な地域をつくる**
教育DX、医療・介護分野DX、地域交通・インフラ・物流DX、まちづくり、文化・スポーツ、防災・減災、国土強靱化の強化等、地域コミュニティ機能の維持・強化等

地方のデジタル実装を下支え

デジタル実装の基礎条件整備

デジタル実装の前提となる取組を国が強力に推進

- 1 デジタル基盤の整備**
デジタルインフラの整備、マイナンバーカードの普及促進・活用拡大、データ連携基盤の構築（デジタル社会実装基盤全国総合整備計画の策定等）、ICTの活用による持続可能性と利便性の高い公共交通ネットワークの整備、エネルギーインフラのデジタル化 等
- 2 デジタル人材の育成・確保**
デジタル人材育成プラットフォームの構築、職業訓練のデジタル分野の重点化、高等教育機関等におけるデジタル人材の育成、デジタル人材の地域への還流促進、女性デジタル人材の育成・確保 等
- 3 誰一人取り残されないための取組**
デジタル推進委員の展開、デジタル共生社会の実現、経済的事情等に基づくデジタルデバイドの是正、利用者視点でのサービスデザイン体制の確立 等

地域ビジョンの実現に向けた施策間連携・地域間連携の推進

＜モデル地域ビジョンの例＞

**■ スマートシティ
スーパーシティ**
スマートシティ
AICT
(福島県会津若松市)

**■ 「デジ活」
中山間地域**
担い手減少に
対応した自動
草刈機の導入

**■ 産学官
協創都市**
データを活用した
スマート農業の取組
(高知県・高知大学)

■ SDGs未来都市
地域交通システムや
コミュニケーション
ロボットの活用
(宮城県石巻市)

**■ 脱炭素
先行地域**
バイオマス発電所
稼働による新産業
の創出
(岡山県真庭市)

＜重要施策分野の例＞

**■ 地域交通の
リ・デザイン**
自動運転バスの
運行
(茨城県境町)

■ こども政策
保健師等との
オンライン相談
(山梨県富士吉田市)

■ 教育DX
オンラインによる
遠隔合同授業
(鹿児島県三島村)

■ 遠隔医療
医療機器装備の
移動診療車
(長野県伊那市)

**■ 地方創生
テレワーク**
空き蔵を活用した
サテライト
オフィスの整備
(福島県喜多方市)

■ 観光DX
観光アプリを活用
した混雑回避・
人流分散
(京都府京都市)

**■ 地域防災
力の向上**
GPS除雪管理
システムの導入
(山形県飯豊町)

地域ビジョン実現を後押し

＜施策間連携の例＞

関連施策の取りまとめ	重点支援	優良事例の横展開	伴走型支援
✓ 関係府省庁の施策を取りまとめ、地方にわかりやすい形で提示	✓ モデルとなる地域を選定し、選定地域の評価・支援	✓ 他地域のモデルとなる優良事例の周知・共有、横展開	✓ ワンストップ型相談体制の構築や地方支分部局の活用等による伴走型支援

＜地域間連携の例＞

デジタルを活用した取組の深化	重点支援	優良事例の横展開
✓ 自治体間連携の枠組みにおけるデジタル活用の取組を促進	✓ 国が事業の採択や地域の選定等を行う際に、地域間連携を行う取組を評価・支援	✓ 地域間連携の優良事例を収集し、メニューブック等を通じて広く周知・共有

「デジ活」中山間地域の位置付け

デジタル田園都市国家構想総合戦略(2023改訂版)(令和5年12月26日閣議決定)

第2章 デジタル田園都市国家構想の実現に必要な施策の方向

1. 取扱方針

(1) デジタルの力を活用した地方の社会課題解決・魅力向上

④魅力的な地域をつくる

(施策の方向)

【地域資源を生かした個性あふれる地域づくり】

人口減少・高齢化が進行し条件不利な中山間地域等は、一方で豊かな自然や魅力ある多彩な地域資源・文化等を有し、次の時代につなぐ価値ある拠点としての可能性を秘めている。中山間地域等の農山漁村が、基幹産業である農林水産業の「仕事づくり」を軸として、地域資源やデジタル技術を活用し、農林水産業関係者に加え、多様な内外の人材を巻き込みながら活力を生み出し、生活基盤の強化・充実を行うことにより社会課題解決に向けて取組を積み重ねることで活性化を図る地域を「デジ活」中山間地域として登録し、関係府省が連携しつつ、その取組を後押しする。

第3章 地域ビジョンの実現

1. 地域ビジョンの実現に資する施策間連携・地域間連携の推進

(2) 施策間連携・地域間連携の方向

＜モデル地域ビジョンの例＞

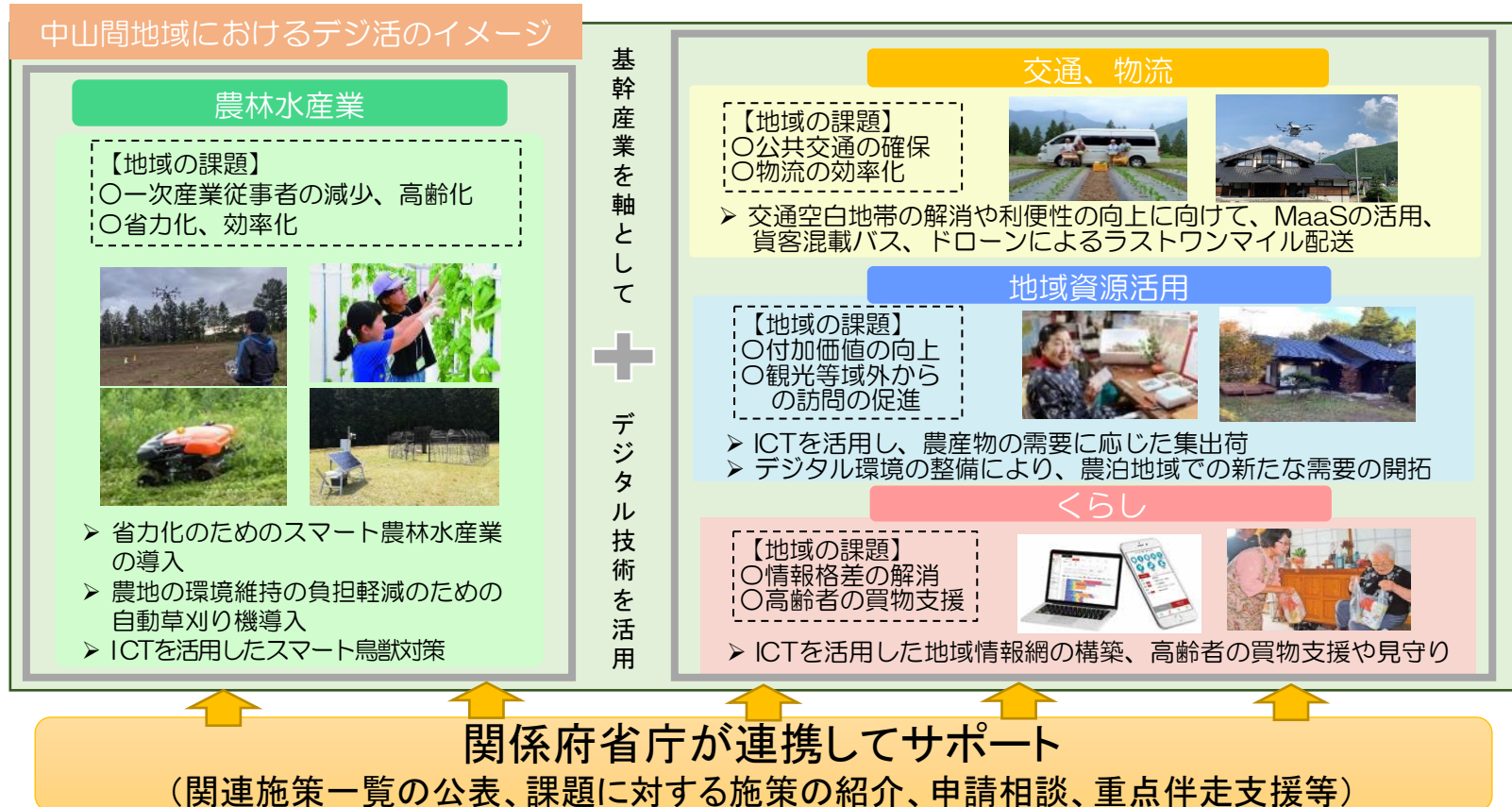
【「デジ活」中山間地域】

中山間地域等では、人口減少や少子高齢化が都市に先駆けて進行しており、AI、ICT等のデジタル技術の活用を通じた省力化・効率化を図ることが急務となっている。こうしたことを踏まえ、中山間地域等において、基幹産業である農林水産業の「仕事づくり」を軸として、教育・文化、医療・福祉、物流等、様々な産業分野と連携しながら、地域資源やデジタル技術を活用しつつ、社会課題解決・地域活性化に取り組むことが重要である。なお、集落生活圏において、複数集落を対象に農用地の保全管理や地域資源の活用、生活支援を担う農村型地域運営組織（農村RMO）が、デジタル技術の活用を通じて「小さな拠点」の持つ機能を効率的・効果的に利用することも期待される。

こういった意欲的な地域を「デジ活」中山間地域として登録・公表し、優遇措置や現地派遣等を通じて関係府省が連携して支援を実施する。こうした取組を通じて、「デジ活」中山間地域について、2027年度までに150地域以上の登録を目指す。

「デジ活」中山間地域について

- 「デジ活」中山間地域とは、地域の基幹産業である農林水産業を軸として、地域資源やAI、ICT等のデジタル技術の活用により、課題解決に向けて取組を積み重ねることで、活性化を図る地域づくりを目指す地域。
- こういった地域で活動する意欲的な農村型地域運営組織（農村RMO）等（※）に対して、関係府省庁が連携してサポート。



※①Digi田甲子園受賞地区、②③新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金：小さな拠点、デジタル実装型：TYPE1)、④過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業、⑤地域社会DX推進パッケージ事業、⑥みどりの食料システム戦略推進交付金(グリーンな栽培体系加速化事業)、⑦農村型地域運営組織モデル形成支援、⑧元気な地域創出モデル支援、⑨スマート農業実証プロジェクト、⑩デジタル林業戦略拠点構築推進事業、⑪デジタル水産業戦略拠点整備推進事業、⑫地域新MaaS創出推進事業、⑬日本版MaaS推進・支援事業、⑭地域公共交通確保維持改善事業費補助金(自動運転社会実装推進事業)、⑮(運輸部門の脱炭素化に向けた先進的システム社会実装促進事業のうち)運輸部門の脱炭素化に向けた次世代型物流促進事業 から応募

「デジ活」中山間地域の取組への支援

1. 関係府省の関連事業から「デジ活」中山間地域を登録

＜小さな拠点や農村RMO等を対象とする事業＞

内閣府	総務省	経済産業省	農林水産省	国土交通省
● Digi田甲子園受賞地区 ● 新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金：小さな拠点） ● 新しい地方経済・生活環境創生交付金（デジタル実装型：TYPE1）	● 過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業 ● 地域社会DX推進/パッケージ事業	● 地域新MaaS創出推進事業	● みどりの食料システム戦略推進交付金（グリーンな栽培体系加速化事業） ● 農村型世代型営繕モデル形成支援 ● 元気な地域輸出モデル支援 ● スマート農業実証プロジェクト ● デジタル林業振興拠点構築推進事業 ● デジタル水産業振興拠点整備推進事業	● 日本版MaaS推進・支援事業 ● 地域公共交通確保維持改善事業費補助金（自動運転社会実装推進事業） ● （運輸部門の脱炭素化に向けた先進的システム社会実装促進事業のうち）運輸部門の脱炭素化に向けた次世代型物流促進事業（環境省予算）

2. 「デジ活」中山間地域 関係府省連絡会議

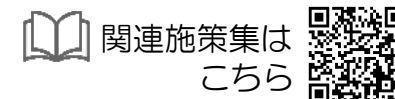
＜「デジ活」中山間地域へのサポート＞

【関係府省】内閣官房、内閣府、総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省、経済産業省、環境省

【役割】関係府省の関連施策一覧作成・公表、活動のフォローアップ、課題の把握、施策紹介、申請相談

3. 「デジ活」中山間地域に係る関係府省の関連施策（一部抜粋）

＜関係府省の連携による「デジ活」中山間地域への支援＞



内閣府	総務省	文部科学省	厚生労働省
● 新しい地方経済・生活環境創生交付金 ● 地域活性化伝道師	● 地域情報化アドバイザー派遣制度 ● ローカル10,000プロジェクト	● 社会教育施策（公民館活動、社会教育士等） ● 国宝重要文化財等保存・活用	● 重層的支援体制整備事業 ● 生活支援コーディネーター ● 遠隔医療関連施策
農林水産省	経済産業省	国土交通省	環境省
● 地域資源活用価値創出対策 ● 情報通信環境整備対策 ● 中山間地域等直接支払交付金	● ゼブラ企業創出・育成のためのエコシステム定着に向けた調査・分析	● 日本版MaaS推進・支援事業 ● 空き家対策総合支援事業 ● ドローン配送拠点整備促進事業	● 指定管理鳥獣捕獲等事業交付金

4. 民間事業者等の協力によるサポート

デジタル分野の専門家による支援や民間事業者とのマッチング、セミナー等を通じた情報提供

※全国事業等の一部メニューは対象外

地域資源活用価値創出対策※、最適土地利用総合対策、中山間地農業推進対策、山村活性化対策、情報通信環境整備対策、自動運転実証調査事業、地域社会DX推進パッケージ事業

5

「デジ活」中山間地域への支援相談窓口

○農林水産省 農村振興局 農村計画課 農村活性化推進室に支援相談窓口を設置し、以下の関係府省庁と連携し「デジ活」中山間地域を支援。

分野	関係府省庁名	窓口部署名
農業分野	農林水産省	農村振興局農村計画課農村活性化推進室
林野分野	//	林野庁森林整備部森林利用課
水産分野	//	水産庁漁政部企画課
デジタル田園都市国家構想	内閣官房	新しい地方経済・生活環境創生本部事務局
新しい地方経済・生活環境創生交付金	内閣府	地方創生推進事務局/地方創生推進室
情報通信、郵政分野等	総務省	大臣官房企画課
社会教育主事、公民館等	文部科学省	総合教育政策局地域学習推進課
国宝重要文化財等	//	文化庁文化資源活用課
医療分野等	厚生労働省	政策統括室
スマートモビリティサービス等	経済産業省	経済産業政策局地域産業基盤整備課
自動運転分野、ドローン活用等	国土交通省	国土政策局総合計画課
指定管理鳥獣等	環境省	大臣官房総合政策課企画評価・政策プロモーション室

窓口の連絡先

担 当 者：農林水産省 農村振興局
農村計画課 農村活性化推進室 農村政策班
電話番号：03-6744-2203(直通)
メール：maff-noushin-dijikatsu@maff.go.jp

「デジ活」中山間地域への優遇措置（令和7年度予算）

「デジ活」中山間地域で事業を実施する場合、審査時のポイント加算等の優遇措置を実施

農山漁村振興交付金による支援

対象事業

全国事業等の一部メニューは対象外

- 地域資源活用価値創出対策 ※

「デジ活」中山間地域で下記事業を実施する場合に審査時のポイント加算

※地域活性化型、創出支援型、農泊推進型、農福連携型、定住促進・交流対策型、産業支援型

- 最適土地利用総合対策

「デジ活」中山間地域で実施する取組であれば優先採択

- 中山間地農業推進対策

「デジ活」中山間地域で実施する取組であれば優先採択

- 山村活性化対策

「デジ活」中山間地域で実施する取組であれば審査時のポイント加算

- 情報通信環境整備対策

「デジ活」中山間地域で実施する取組であれば優先採択

優先採択等の詳細については、各事業の実施要綱・要領等をご確認ください

「デジ活」中山間地域への重点伴走支援

○「デジ活」中山間地域に登録後、農林水産省職員による現地訪問を実施し、初回訪問の結果を踏まえ、国の職員によるサポートを強く希望する地域に対して、地域ごとに関係府省庁が連携して重点伴走支援を実施する。

関係府省の登録事業を実施→登録申請（チェックシートを提出）→関係府省連絡会議で「デジ活」に登録

初回現地訪問（全地域）

農林水産省職員が現地を訪問し、地域の抱える課題やニーズ、それに対する取組状況などを聞き取り。

登録事業を所管する府省庁をはじめとする関係府省と連携し、課題解決に資する施策や優良事例等を紹介。

事業を所管する府省庁の
同行やオンライン参加、助言

2回目以降の現地訪問等（全地域）

半年程度に一度、農林水産省職員が現地訪問等により課題やニーズの進捗状況を聞き取り。

必要に応じて、引き続き課題解決に資する施策や優良事例等を紹介。

国によるサポートを
強く希望する地域

重点伴走支援（農林水産省職員の訪問等を踏まえ選定）

地域の抱える課題に沿った関係府省庁の制度や補助事業、官民共創の取組等を活用し、継続的に支援。

地域ごとに関係府省庁による支援チームを構築し、ニーズに応じた的確な支援を実施。

（場合によっては）

支援チーム

内閣府	国土交通省
総務省	環境省
農林水産省	厚生労働省
経済産業省	文部科学省

（地域ごとに、課題やニーズに対応する府省庁で構成）

「デジ活」中山間地域の登録申請から支援開始までのプロセス

登録申請

市町村、地域協議会（活動主体）等の事業実施主体等が事業申請にあわせて、「デジ活」中山間地域への登録を申請※

※①は受賞後、②及び③にあっては事業採択内示後、⑥、⑨、⑩、⑪、⑫、⑬及び⑮にあっては事業採択後に登録を申請

農水省

【農林水産省担当事業】

- ⑥ みどりの食料システム戦略推進交付金（グリーンな栽培体系加速化事業）
- ⑦ 農村型地域運営組織モデル形成支援
- ⑧ 元気な地域創出モデル支援
- ⑨ スマート農業実証プロジェクト
- ⑩ デジタル林業戦略拠点構築推進事業
- ⑪ デジタル水産業戦略拠点整備推進事業

関係府省

【内閣府担当事業等】

- ① Digi田甲子園受賞地区
- ② 新しい地方経済・生活環境創性交付金（第2世代交付金：小さな拠点）
- ③ 新しい地方経済・生活環境創性交付金（デジタル実装型：TYPE1）

【総務省担当事業】

- ④ 過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業
- ⑤ 地域社会DX推進パッケージ事業

【経済産業省担当事業】

- ⑫ 地域新MaaS創出推進事業

【国土交通省担当事業】

- ⑬ 日本版MaaS推進・支援事業
- ⑭ 地域公共交通確保維持改善事業費補助金（自動運転社会実装推進事業）
- ⑮ （運輸部門の脱炭素化に向けた先進的システム社会実装促進事業のうち）運輸部門の脱炭素化に向けた次世代型物流促進事業

チェックリスト確認

農林水産省において、チェックシートにより、「デジ活」中山間地域の必要事項を満たしているか確認

公表・支援開始

関係府省連携チームにおいて、「デジ活」中山間地域を共有・公表し、フォローアップ（現地派遣、民間事業者とのマッチング、セミナー等）や、各地域の課題に応じた施策紹介等の支援を実施

「デジ活」中山間地域の共通チェックシート

- 「デジ活」中山間地域については、以下のチェック項目の全てが満たされていることを確認。
- また、共通チェックシートには、申請者において支援を必要とする関係府省名及び希望する支援内容を記述。

(1) チェック項目

チェック項目	評価
○ デジタルを活用して、地域を活性化する取組であること	○
○ 事業内容に、基幹事業である農林水産分野の「仕事づくり」※に関する取組が含まれていること ※農林水産物の生産又は加工・流通や、農山漁村における地域資源（動植物、自然環境、景観、歴史・文化、古民家、歴史的施設等）を活用したもの ※農林水産分野に関する取組が含まれていない場合でも、エリア内で事業実施主体が農林水産分野の取組を行っていれば可	○
○ 事業実施地区に、中山間地域等※を含むものであること ※中山間地域等とは、特定農山村、振興山村、過疎、半島、離島、沖縄、奄美群島、小笠原諸島、特別豪雪、指定棚田、旧急傾斜法の指定地、農林統計上の中山間地域、水産統計上の漁業地区	○
○ 地方公共団体、地域団体、民間団体、専門家など、地域内外の多様な関係者が参加・連携する体制を構築している又は構築予定であること	○

(2) 支援を必要とする関係府省 ※支援を必要とする関係府省等が明確である場合は、関係府省名等をチェック。

内閣官房	内閣府	経済産業省	厚生労働省	文部科学省	総務省	国土交通省	環境省	農林水産省
			該当する府省覧に「○」を記載					
関係府省名		希望する支援内容						
■■省		●●の課題解決のため、利活用可能な制度を相談したい。						

※「Digi田甲子園」、「スマート農業実証プロジェクト」の事業等実施主体においては、チェックシートのほか、デジタル技術を活用した地域を活性化する取組等を記載した登録申請書を提出。

「デジ活」中山間地域の登録状況

36道府県97地域 (2024年11月26日時点)

デジタル田園都市国家構想総合戦略におけるKPI：2027年度までに150地域登録

- デジタル田園都市国家構想交付金：7地域、○過疎地域等集落ネットワーク形成支援事業：1地域、◆農山漁村振興交付金事業：74地域、
■デジタル林業戦略拠点構築推進事業：3地域、□デジタル水産業戦略拠点整備推進事業：5地域、◇地域公共交通確保維持改善事業費補助金（自動運転実証調査事業）：3地域
▲地域デジタル基盤活用推進事業：1地域、△みどりの食料システム戦略推進交付金：2地域、◎スマート農業実証プロジェクト：1地域

九州（26地域）

- 福岡県**
④八女市◆ ⑨香春町
②古賀市小野地区◆ 採銅所地区◆
⑤田川市◆
佐賀県
③鹿島市◆
④太良町◆
⑦白石町白岩地区◆
長崎県
⑤壱岐市◆
⑥雲仙市◆
⑦南島原市◆
熊本県
④山鹿市菊鹿地区◆ ⑨山鹿市◆
④高森町野尻地区◆ ⑨山江村◆
⑤南阿蘇村◆ ⑨球磨村◆
⑨八代市東陽地区◆ 一勝地区◆
②天草市宮地岳地区◆
宮崎県
⑤西都市東米良地区◆
⑤日南市酒谷地区◆
⑥日南市下塚田地区◆
鹿児島県
⑦南大隅町●
⑦天城町◆
⑦知名町◆
⑤南種子町△
⑦鹿児島県地域（鹿児島市、日置市、垂水市、西之表市、長島町、東串良町等）□

中国・四国（17地域）

- 岡山県**
③真庭市◆
鳥取県
⑬鳥取市、三朝町、日南町（「鳥取地域」）■
島根県
⑭奥出雲町◆
⑮出雲市◆
⑯大田市◆
⑰邑南町◆
⑱浜田市◆
⑲雲南市鍋山地区◆
広島県
⑮北広島町◆
⑲呉市◆
⑲神石高原町▲
山口県
③下関市（「山口県下関地域」）□
徳島県
②美波町◆
④阿南市◆
高知県
②梼原町◆ ⑨本山町◆
⑦土佐町●

近畿（12地域）

- 滋賀県**
⑨甲賀市鮎河地区◆
③米原市小泉地区◆
④日野町日野北部（桜谷）地区◆
⑦米原市東草野地区◆
京都府
⑩与謝野町◆
大阪府
⑤大阪市、堺市、高石市、泉大津市、忠岡町、岸和田市、泉佐野市、泉南市、阪南市、岬町（「大阪泉州地域」）□
和歌山県
⑪紀美野町◆
⑫田辺市上秋津地区◆
兵庫県
⑥上郡町◆
⑦赤穂市周世・有年横尾地区◆
奈良県
⑦宇陀市◇
③奈良市●

北陸（6地域）

- 石川県**
⑤七尾市鉾打地区◆
⑨白山市◆
新潟県
⑥出雲崎町◆
③阿賀野市笹神地区○
富山県
⑥氷見市◆ ⑨立山町◆

北海道（3地域）

- 北海道**
①鷹栖町●
②芦別市、厚真町、下川町、枝幸町（「北海道地域」）■
③三笠市●

東北（16地域）

- 青森県**
⑤東北町●
岩手県
②奥州市江刺伊手地区◆
②花巻市東和町谷内第一行政区◆
③奥州市衣川北股地区◆
宮城県
④気仙沼市（「宮城県気仙沼地域」）□
③大崎市岩出山地域・鳴子温泉地域△
⑥川崎町◆
秋田県
⑤藤里町◆
⑥にかほ市横岡・舟岡地区◆
⑥三種町下岩川地区◆
山形県
⑥西川町◆
⑥酒田市大沢地区◆
⑥酒田市日向地区◆
⑥南陽市漆山地区◆
福島県
⑦田村市◇
③伊達市霊山町大石地域◆

関東甲信・静岡（12地域）

- 千葉県**
⑤南房総市◆
山梨県
③甲州市◆ ⑧富士川町巻米・平林・穂積地区◆
②富士吉田市◇ ⑧富士川町中部・五開地区◆
静岡県
④伊豆市、富士市、静岡市（「静岡地域」）■
②焼津市（「静岡県焼津地域」）□
③松崎町石部棚田地区◆
長野県
③宮田村◆ ⑧長野市大岡地区◆
⑥立科町● ⑤伊那市◆

東海（5地域）

- 岐阜県**
②中津川市◆
⑥高山市○
愛知県
⑦岡崎市◆
⑥豊田市◆
三重県
⑧多気町◆

